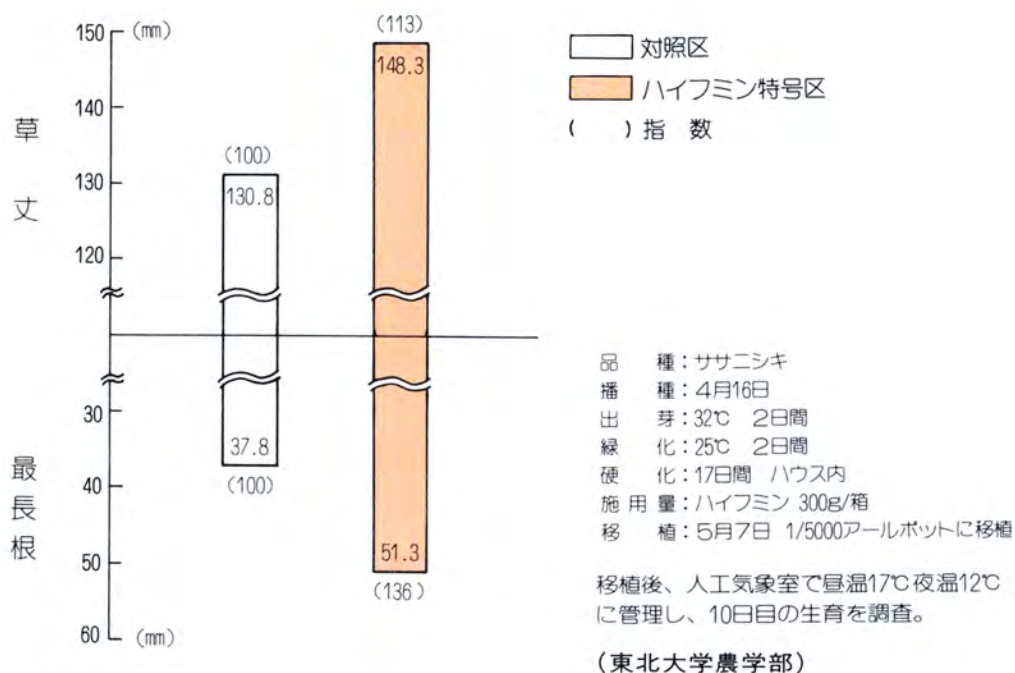


8 生理活性におよぼす効果

低温抵抗性が高まります。

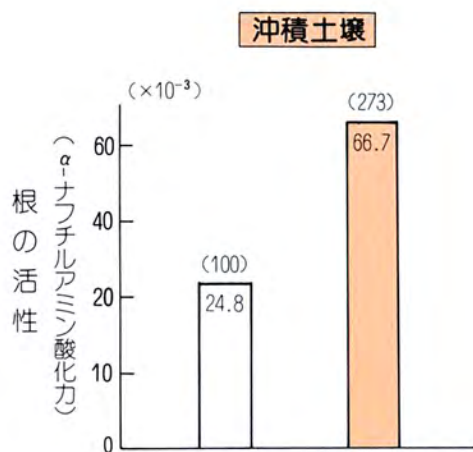
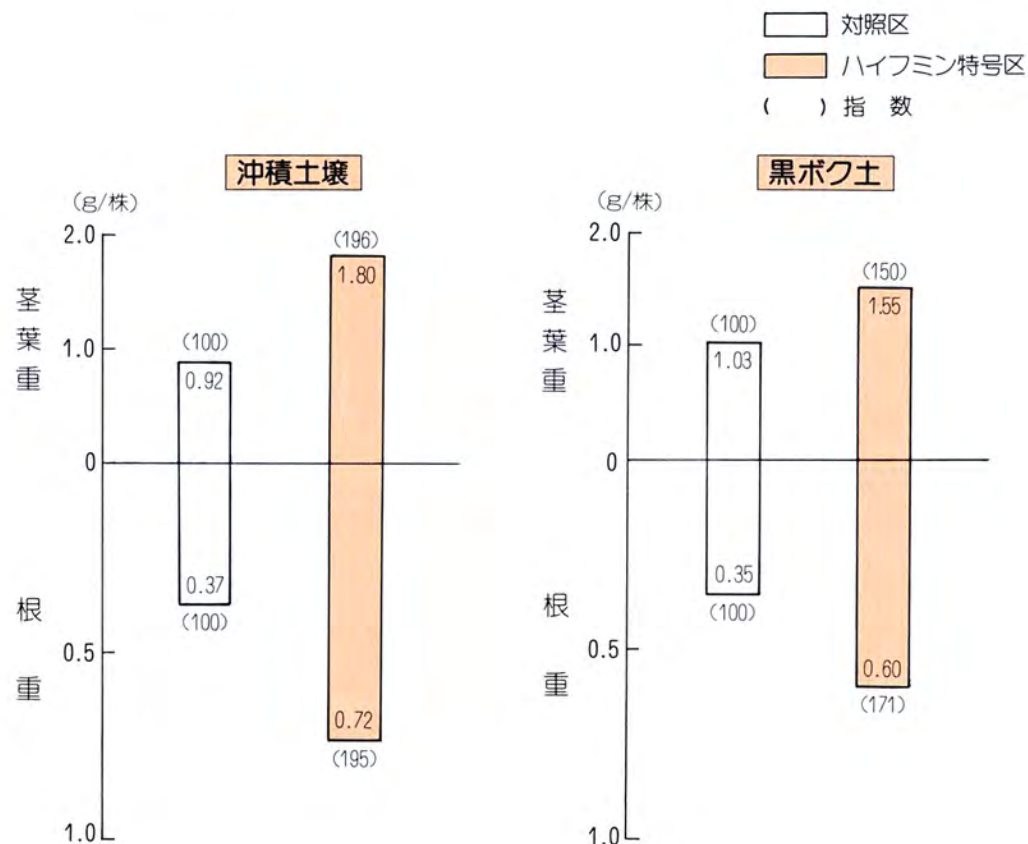
1 低温条件下におけるイネの活着力

ハイフミン(水稻育苗用)を混合した床土で育苗したイネは、移植後の低温条件に対し抵抗性が強く、活着力がすぐれ、生育もよくなります。



2 水稲本田における低温条件下でのイネの生育

ハイフミン特号を水稲本田に施用すると、根の活性が高まり、低温条件下での生育がよくなります。



土 壌：沖積土壌および黒ボク土
 品 種：トヨニシギ
 移 植：6月4日 1/5000アールポットに移植
 施 肥 量：N 0.65、P₂O₅ 0.65、K₂O 0.65 (g/ポット)
 施 用 量：ハイフミン特号 6.0g/ポット
 移植後人工気象室で15℃ (6/4~6/22)、
 16℃ (6/23~7/10) に管理し、55日目の
 生育を調査。

(秋田県農業試験場)

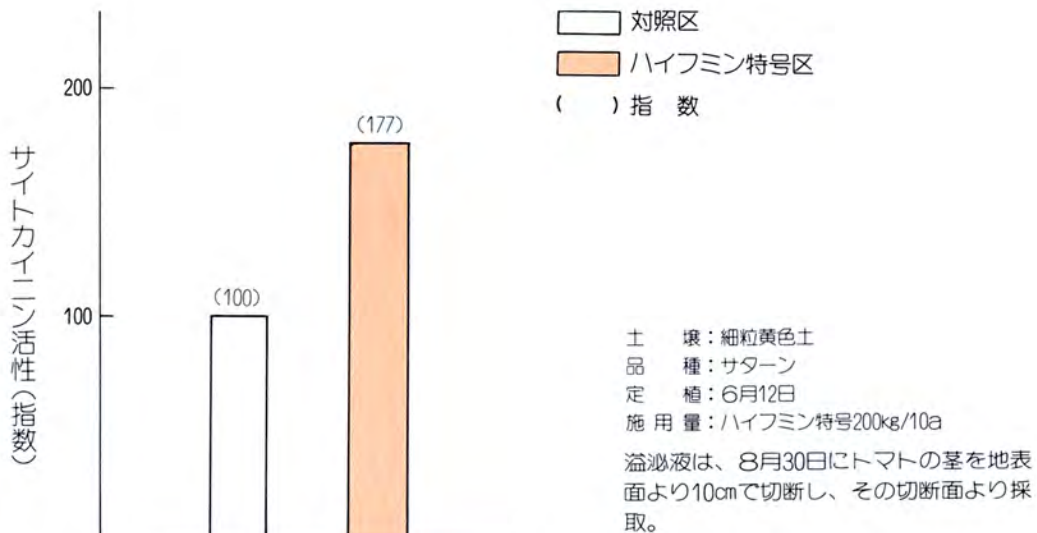
サイトカイニンの活性を高めます。

サイトカイニンは、細胞分裂を盛んにし、新芽の形成を促進すると共に、葉の老化や低温条件下での光合成能力の低下を抑えるなど、重要な役割を持つ生理活性物質です。

ハイフミン特号は、サイトカイニンの生成を促進し、その活性を高める効果があります。

1 トマト溢泌液中のサイトカイニン活性

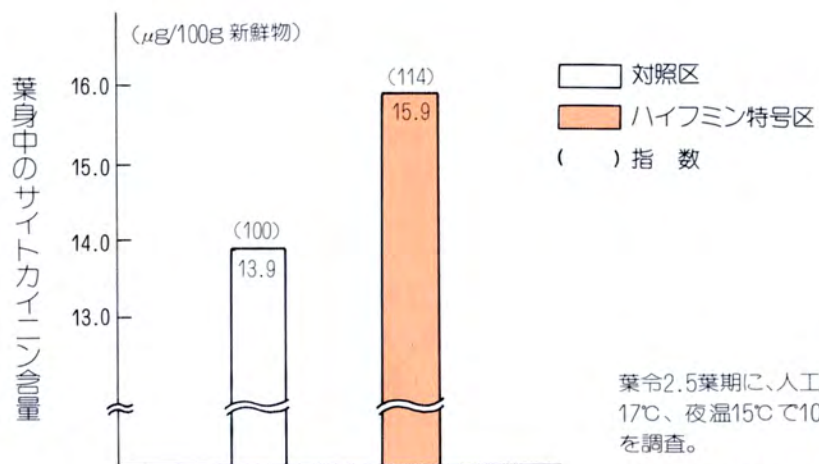
ハイフミン特号の施用によって、サイトカイニンの活性が高まり、生育が促進されます。



(富山県立農業技術短期大学)

2 水稲稚苗の低温処理後のサイトカニン含量

床土にハイフミン(水稲育苗用)を混合して育苗した水稲稚苗は、サイトカニン含量が高く、低温条件における生育抑制を防ぐ効果があります。



葉令2.5葉期に、人工気象室において昼温17℃、夜温15℃で10日間生育させたものを調査。

(富山県立農業技術短期大学)